



われら西内小学校



令和元年9月2日

自由研究「西内・平井の自然」

8月29日（木）まで、作品展として児童の取り組んだ夏休みの自由研究が校内に掲示されていました。力が入った研究ぞろいでした。

児童の研究にあわせて、教職員の自由研究として学区の調査に取り組みました。「西内・平井の自然」です。

1 研究テーマ 「西内・平井の自然」

2 研究を始めたわけ

西内小学校は、「地域へ出る学習」をグランドデザインに掲げています。児童が地域に出るには、教職員が地域のことをよく知っている必要があるでしょう。地域の素材の中に教職員自身が価値を見出していることで、指導・支援は深まります。

ということで、まずは教職員から地域のことをよく知ろうということで地域に出てみました。西内・平井地区の自然に関する調査です。

3 研究すること

西内小の校章にあしらわれるリンドウは、地域を象徴する花です。地区の自然環境を活かした栽培ということで、調査対象の一つはリンドウとしました。また、学区内に三つの温泉地があるというのも貴重で珍しいことです。調査対象に温泉を加えました。さらに、学校の周囲を見渡してみると木々が豊かな山、美しい川が見られます。山や川も調査することにしました。

4 研究の仕方

研究の方法…実際に対象物を見て触れて、五感を通して調査する。

地域の方にガイドを依頼する。インタビュー調査をする。

研究の用具…デジタルカメラ、ノート、筆記具、

水分、塩分、帽子、タオル等（熱中症予防）

参考文献 …「内村の山々と住民」 永井宏昌 著

5 研究の結果

(1) リンドウ

リンドウ栽培をする小宮山正治さんに畑を見せてもらい、インタビューをしました。以下のことを教えてもらいました。

・北海道のエゾリンドウに目をつけ、平井の今井さんが栽培を始めたのが地区でのリンドウ栽培



の始まりである。

- ・リンドウは元々高山植物で、標高の高い西内・平井地区での栽培に適した花である。
- ・過去には西内・平井で100軒ほどのリンドウ農家があった。現在は2軒である。
- ・西内・平井地区にはリンドウの栽培に適した自然環境がある。砂壤土、水が豊富、標高が高く昼夜の寒暖差が大きいことは、リンドウの栽培に適している。
- ・通常は青がリンドウの花の色であるが、小宮山さんは10年ほどかけてピンクのリンドウの開発に成功した。
- ・現在はリンドウに加えて、トルコキキョウの栽培にも力を入れている。
- ・他地区から、西内・平井のリンドウは花の色が鮮やかだと質の高さが評価される。

小宮山さんがどうしてピンクのリンドウ開発に取り組んだのか、どのように成し遂げたのか、また、トルコキキョウの栽培に力を入れるようになった理由等調べていくとおもしろいと思いました。

(2) 温泉

「鹿教湯温泉、大塩温泉、霊泉寺温泉をまとめて丸子温泉郷と呼び、環境省により国民保養温泉地として指定されている。(信州とおき情報HPより)」ということです。

三つの温泉入りくらべ

	鹿教湯温泉	大塩温泉	霊泉寺温泉
外観	 文殊の湯	 大塩温泉共同浴場	 霊泉寺温泉共同浴場
感想	露天風呂があり、内村川のせせらぎを聞きながら入ることができ風流でした。泉温は熱くなく、寒くなく、いつまでも入っていられるように感じました。	ぬるめのお湯で、夏にはちょうどよいと感じました。お湯の沸き出し口が二つあり、違った泉温のお風呂に入ることができました。地域の方の利用が多いようでした。	広い浴槽で、手足を伸ばして入れるのが心地よかったです。泉温は若干高めを感じました。秋冬などさらに気持ちよく入れるのではと思いました。

鹿教湯病院でインタビュー調査してみると、どの温泉にも湯治の歴史があり、そのつながりでリハビリテーションを専門とする鹿教湯病院ができたということでした。また、温泉には食の楽しみが欠かせないものです。温泉まんじゅうが売られていて、所々に飲食店があります。温泉まんじゅうには3種類あって食べてみましたが、それぞれの味わいがありおいしいです。



それぞれの浴場の利用者数や、どうしてその温泉を利用するのか理由を調べたり、他地区温泉と西内・平井の温泉を比べてみて、特徴・特質に迫るのも興味深いと思いました。

(3) 川



【小宮山雅雄さん宅から見る内村川】



【霊泉寺川の稚児ヶ淵】



【内村川にかかるみどりばし】

地区には、内村川・霊泉寺川の二つの川が流れています。二つの川とも、ポイントを探せば近づき、入って遊べる川であるように思います。実際学校では川遊びをしていますし、地域の人に聞くと、「子どもの頃は川に入ってよく遊んだものだ。魚をたくさん採った。」との声がありました。

内村川ですが、高梨部落長の小宮山雅雄さん宅のお庭からは川辺へ下りていく通路があり、川に入って遊べるポイントがあります。昔はよく魚を採って遊ぶ子どもたちの姿が見られたそうです。霊泉寺川の「稚児ヶ淵」では、「子どもの頃はよく跳びこんで遊んだ。」といった地域の方のお話を聞きました。どちらも、自然と川に入ってみたくなるような魅力的なポイントだと思いました。また、昔より数が減ったものの、蛍が群生する地点もあるということです。

西内小学校は全校で川遊びをします。そんな機会を活かして、川でどんな遊びができるか楽しみを深めていくことができるのではないかと思います。また、そんな中で地域の川遊びの達人に遊び方を伝授してもらったり、稚児ヶ淵での遊びを体験したりするのも楽しそうだと思います。

蛍はどこで見られるのか、数が減ったのはどうしてか、もとのように増やすことはできるのか、そんなテーマも興味深いです。学校にはよいビオトープがありますので、そこで活動を試してみることもできます。

(4) 山

8月8日(木)に地域コーディネーターの今井裕さんにガイドをお願いし、地区の山にある「一本槍」の調査に出かけました。

宮沢地区から山に入っていました。当日は日中の気温が35度ほどの暑い日でしたが、山の中は木々の葉が日よけとなり、思いのほか涼しかったです。初めのうちは山道があり、そこを歩いていきました。杉を切り出した後なのか広い場所があり、自然体験として遊べそうな地点が多々ありました。一本槍を直線的にめざし、途中からは道なき道をかき分けて登っていきました。



【ミニ一本槍】



【一本槍】

途中、一本槍と似た形状の岩の重なりを見つけました。一本槍よりも小ぶりの岩の重なりです。今井さんとミニ一本槍と名づけ、一本槍を母としたら娘岩だと話しながら先へ進みました。険しい斜面を地面に両手をつき、四つん這いになって進んでいき、めあての一本槍に到着しました。見る方向からいろいろなものをイメージできます。ゴリラのように見えますし、人の横顔に見ることができます。人の横顔と見たときには、西内・平井方面を見つめています。

西内・平井地区の山からは、貝の化石が発掘されることがあると聞きました。一本槍は大昔、海底に噴出した溶岩が固まってできたもので、大きな火山岩の重なりだということです。自然の力の大きさを感しました。帰りは独鈷山の登山道から帰りました。西内・平井地区の山の世界を一部ではありますが体感することができました。

独鈷山は険しいので、登ろうとすればそれなりの準備と装備が必要になります。ですが、道路からちょっと入った山の裾にも、調べたり遊んだりできる木や川がありますので、いろいろな活動が考えられそうです。

6 わかったこと

西内・平井地区には、少し山の中に入るだけで、また、少し道路から脇にそれるだけで、木々や川など豊かな自然があります。また、昔から地区の人は自然を利用して農業を営み、温泉や川、山といった

自然に親しんできたことがわかりました。

7 感想

今後、「鹿教湯八景」「細尾の滝」など地区の自然についてさらに調査してみたいと思いました。また、霊泉寺、文殊堂といった寺社等文化財や地区の歴史について調べてみたいとも思いました。

調査を子どもたちの学習活動につなげ、地区のよさを知ったり体験したり、体験から抱いた願いの実現や課題解決を図る探求的な活動を実施できたらよい学びになると思いました。

この調査は地区の一部の姿でしかありません。地区のこんなよさがある、解決したい課題があるといった情報がありましたら学校（☎44-2300）へお寄せください。

10月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7 金管講習	8 クラスコンサート 東海フェス壮行会	9	10 全へき長野大会金管 アトラクション	11 後期児童会開始	12	13 東海小バンド フェス
14 体育の日	15 あいさつデー	16 短縮日課 下校14:00	17 3・4年長野 見学	18	19 上小管楽器 交歓演奏会	20
21 3・4年社会科 見学	22 即位礼正殿の 儀	23	24 検尿 屈折検査 青少年ネット	25 5・6年交流宿 泊学習①	26 5・6年交流 宿泊学習②	27
28 5・6年計画休 業	29	30 6年市連合音 楽会	31			

・3・4年生は長野見学，社会科見学があります。5，6年生は交流宿泊学習で千葉を訪れます。13日（日）は東海小学生バンドフェスティバルです。学習活動に力を入れて取り組める時期でもあります。実りの秋としたいですね。

学校では不祥事根絶に向け，服務規律の遵守に努めていくように，非違行為防止研修を実施しています。

西内小クイズ

写真の金管バンドは，何という曲の演奏をしているでしょう。

- ① 宝島 ② 笑点のテーマ ③ シング・シング・シング



バンドメンバーの演奏者が前に出てきているのがポイントになります。「♪フンフンフンフン、フンフン、フン」金管バンドは8月24日（土）のかけゆストリートフェスのステージに出演し、お祭りを盛り上げました。（答え②）